

平成27年度第1回 七尾市総合教育会議 議事録

I 日 時 平成27年6月12日（金）午前10時から10時52分

II 場 所 七尾市役所3階 302会議室

III 出席者

【構成員】七尾市長 不嶋 豊和

七尾市教育委員会

委員長 山下 敏博

委員長職務代理 寺岡 卓子

委員 大森 重宜

委員 室屋 美佳

教育長 近江 一芳

【事務局ほか職員】

総務部長 岡野 崇

教育部長 浦辺 常寿

企画財政課長 福島 外哉

教育総務課長 石川 利樹

学校教育課長 藤澤 浩

教育総務課課長補佐 横川 俊充

企画財政課課長補佐 平畠 基次

企画財政課主幹兼企画推進グループリーダー

宮森 道夫

IV 議事

1 開会

2 協議

(1) 設置要綱について

(2) 今後の会議の議題について

①教育大綱の策定

②教育条件の整備等重点的に講ずべき施策

③いじめ対策

④その他

(3) 今後のスケジュール

3 閉会

V 議事の経過（要点のみ掲載）

◎**福島企画財政課長** 私は総務部企画財政課の福島です。会議の進行を務めさせていただきます。最初に不嶋市長からあいさつをお願いします。

◎**不嶋七尾市長** 本日は、よろしくお願い申し上げます。ご案内のとおり、改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律が4月1日から施行されました。地方教

育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携の強化等、教育委員会制度の抜本的な改正が行われたわけです。本日の会議も、その制度改正の一環として「市長と教育委員会が、円滑な意思疎通を図り、市の教育の課題や目指す姿等を共有しながら、同じ方向性のもと、連携して効果的に教育行政を推進していく」ために設置されたものです。当市におきましては、市長部局と教育委員会については、以前からきちんと連携をとって進めてきたという思いです。予算編成のときも色々議論をさせていただいていますし、年4回の市議会定例会での質疑応答を通して、同じ方向でしっかりと教育行政を進めるために取組んできたという理解をしています。そういう意味では、これまでとあまり変わることがないという思いですが、委員の皆さまにおかれましては、これまで同様、市の教育行政の推進に、お力を賜りますようお願い申し上げます。私としては、教育分野におけるプレーヤーはあくまでも教育委員会だという思いです。市長部局はその後押しをする役割を担っているという考えです。そのためには、市長と教育委員会の考える方向性が一致していることが必要ですし、車の両輪のように、子どものために、教育のために進めてまいりたいと思います。この会議が、これまで以上に連携を強める意味での、有意義な機会になるようお願いを申し上げて、あいさつとさせていただきます。本日はどうか、よろしくお願いいたします。

◎**福島企画財政課長** 続きまして、教育委員の皆さまからあいさつをお願いします。

◎**山下教育委員長** 私ごとになりますが、私と教育長は高校の同期です。周りの同級生に、委員長と教育長はどう違うのだと、よく質問されます。それなりに答えているつもりですが、なかなか理解してもらえません。よくよく考えると、教育委員会と教育委員会事務局を混同しているというところに行きつくわけです。今回、教育行政の責任体制が明確化されたという点では、周りにも理解されていくのではないかと気がしています。教育委員についても、これまではレーマンコントロールという考え方だったのですが、今回の会合では、一般社会で言われている社外取締役のような形で、しっかりとした知見を持って臨まないといけないという、重大な役目も出てきたという気がしています。教育振興基本計画ですが、4月に市の方で、4つの基本施策が発表されたわけですが、それは国の振興政策を大体網羅していると思いますので、そのまま大綱に移行しても特段問題がないと思います。七尾版の何かを味付けしていくことが大切だと思います。過去に少子化対応として、七尾でぜひ教育を受けさせたいと思われる、質の高い教育を提供したいと言われていました。現在、教育委員会事務局では、ふるさと教育と対角をなすような、外国語教育に特化したものに力を入れています。それは国の施策でも最近では言われているのではないかと思います。私個人の考え方では、学力等に興味、関心がある程度定着した段階で、学校間連携について、中高の連携よりももっと下に連携を下げて、外国教育なら小学校の低学年からどんどん入れていくべきだと思います。そうすると、七尾で教育を受けさせたいという気持ちが起こってくる気がしています。この中には、ジャパンテントで留学生を引き

受けた方もいると思いますが、彼らも意識は高いですが、バイリンガルどころか、3カ国語、4カ国語を操るわけです。そういう素地を七尾版の大綱の中で少しでもアレンジした形で入れていければ、少しは色々な意味で、七尾の教育を発信できると思います。全国学力調査の成績が良いから七尾に教育を受けさせたいということは起こらないと思います。何か特別なものがあつた方が、子ども達や保護者に対しても訴えるものが出てくるのではないかと期待しています。

◎**福島企画財政課長** 続きまして、寺岡委員長職務代理からあいさつをお願いします。

◎**寺岡教育委員長職務代理** 市長や教育委員長が、言おうと思っていたことをすべて言ってくれたので、思いは1つだと思います。皆さんが同じ方向に向くことが根本だと思うので、委員長も言われていましたが、小学校低学年と言わず、幼保小中高すべて繋がり合ったものを見据えた上で見守っていきたい、色々なものをしていきたいと思っています。最後に行き着くのは市民憲章にあるような姿だと思っていますので、そのような思いを持って、皆さんで繋がり合っていきたいと思っています。よろしくをお願いします。

◎**福島企画財政課長** 続きまして、大森委員をお願いします。

◎**大森委員** 私は普段、大学に勤めていますが、全く大学行政が変わりました。教育委員会も同じだと思いますが、学長権限が非常に大きくなり、教授会等が情報伝達の機関になりました。その方が物事は回るということも実感しています。文部科学省が教育行政のシステムを変えることになったのは、おそらく考えは同じで、機能が役に立つようにということだと思います。委員長が言われるように、学力向上ということではなく、私達として地域のために何ができるかを考えていくべきだと思います。そうしないと生き残れないかもしれません。1950年に発表された、研究報告の能登という名書があります。これによる七尾のどこがよいのか、七尾は能登にとって、どういう役割を果たしているのかという結論は、能登半島全体が七尾に教育を依存しているということでした。ところが今は学生が変わり、七尾をスルーするような形になっています。ですから今後、七尾が生き残っていくためには、人を残すためにも、教育のありようが根本的なことなのかもしれません。具体的に市に何ができるかということまで行ければと思っています。今後ともよろしくをお願いします。

◎**福島企画財政課長** 続きまして、室屋委員をお願いします。

◎**室屋委員** 山下委員長が言われたジャパンテントですが、私の子どもが小学1年生のときに実家で受け入れて、中国人とマレーシア人の女性と寝食をともにしました。それで、私の子どもが中国語らしきものを話したりマレーシア語を話したりして、すごく仲良く遊んでいたのを思い出しました。やはり小さいときから、そういう人達と関わるのはすごく勉強になるし、吸収がすごく速いと思いました。中学校や小学校高学年になってしまうと、頭が固まってしまっているのかなと思います。小さいときから関わっていくのは大事なことだと思うので、これからもよろしくお願ひしたいと思っています。それから私は近所に小学生が多く、私が帰っ

てくると、お帰りと言って小学生が皆で迎えてくれます。そういう笑顔のある七尾の子ども達をこれからも見守るために、頑張っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

◎**福島企画財政課長** 続きまして、近江教育長をお願いします。

◎**近江教育長** 定例教育委員会等の機会に、市長と一緒に七尾の次代を担う子ども達のために一生懸命になって、七尾の人づくり、まちづくりについて話をさせていただいています。今度の教育委員会制度改正は、一層市長との連携を深めながら、一緒になって七尾の未来の人づくりに取り組んでいけるということで、大変喜んでいきます。制度改正こそが、大変よい方法になったと言えるようになっていければと思っています。ぜひこの機会を生かしていきたいと思っています。何よりも子ども達の安全安心を第一にしながら、素晴らしい地域の教育のために、私達は一致協力して、教育委員会挙げて頑張っていきたいと願っています。また市長の意向についても聞かせていただければとも思っています。今後もよろしくをお願いします。

◎**福島企画財政課長** それでは協議事項に入ります。協議事項（１）の七尾市総合教育会議設置要綱案について、事務局から説明をします。

◎**平島企画財政課課長補佐** （【資料１】により説明）

◎**福島企画財政課長** 以上で説明が終わりました。質疑等はございませんか。

質疑等なし

◎**福島企画財政課長** 質問等がないようでしたら、了承することに異議はございませんか。

異議なし

◎**福島企画財政課長** では、了承されたものといたしまして、会議の運営につきましては、今後はこの要綱に基づいて行っていきたいと思います。要綱に基づき、市長が議長になりますので、会議の進行をお願いします。

◎**不嶋七尾市長** それでは要綱に基づいて、私が進行させていただきます。協議の（２）、「今後の会議の議題について」であります。①の「教育大綱の策定」についてであります。教育委員会事務局から説明をお願いします。

◎**石川教育総務課長** （【資料２】の２頁から４頁により説明）

◎**不嶋七尾市長** 教育委員会の考えが示されましたが、質疑や意見があれば、発言をお願いします。

質疑等なし

◎**不嶋七尾市長** 新しいものをつくるということではなく、今持っている計画や教育委員会の方向性のようなものが、しっかりと落とし込まれた中身にすれば、よいのではないかと思います。加えるものは加えてよいと思いますが、教育委員会で

今持っているものを見やすい形にして、もう一度示してもらおうということが大事だと思います。教育委員会の英知を集めて、よいものをつくってもらえればという思いです。教育総務課長、大綱の策定予定を示してください。

◎石川教育総務課長 秋には策定する予定です。

◎不嶋七尾市長 秋にはまとまったものにしていただくということで、よろしくお願ひします。策定のために、この会議でお互いに議論をしたいという思いです。よろしくお願ひします。大綱についての考えはこれでよいでしょうか。

異議なし

◎不嶋七尾市長 では、次に入ります。②の「教育条件の整備等重点的に講ずべき施策」についてであります。教育委員会事務局から説明を願ひします。

◎石川教育総務課長 (【資料2】の5頁により説明)

(補足：複式学級の解消を当面重点的に行っていきたいと考えています。現在、複式学級になっているのは、有磯小学校が4学級、高階小学校が5学級です。)

◎不嶋七尾市長 私の居住地である北星小学校は、地域自ら判断し、統合という道を選んでいただきました。45分の授業のうち半分が自習というようなことはできないと思いますので、しっかりとした形の教育環境をつくってあげたいという思いです。教育委員会の方でもコンセンサスを得るようにしているので、地域の皆さんとよくよく相談しながら進めていただければありがたいという思いです。皆さんから質疑や意見等があれば発言してください。教育長、決意表明はないですか。

◎近江教育長 複式学級に関してですが、高階小学校は、現在地域から複式解消について理解をいただいて、教育委員会預かりになっています。できれば、これまでの関係が深かった徳田小学校との統合ということで、朝日中学校が平成29年度に七尾中学校として統合されるため、現在の朝日中学校を利活用し、新しい統合小学校を持って行ければと考え進めています。それで高階小学校は複式解消になると思いますが、平成29年の七尾中学校の開校までは、朝日中学校の生徒は勉強も部活動もありますから、平成30年4月に統合できれば、最も生徒にも負担がなくてよいと思い、その方向で進めることを考えています。有磯小学校は、これから地域の方々に子ども達の学習の様子等をよく見ていただきたいと思います。家庭的な良さもたくさんありますが、たくさんの友達と仲良くしながら、多くの方々とコミュニケーションの中で、社会を築いていくということの重要性を知っていただいて、地域の方々と話し合いをどんどん進めていきたいと考えています。有磯小学校については、徳田小学校と高階小学校が統合する時期と差がなく、それよりも早くなれば、なお結構なので、1年でも早く統合に向けた話し合いをしていきたいと思っています。

◎不嶋七尾市長 他に発言はありますか。

◎大森委員 子ども達が少なくなってきた、越境的な入学の人達があります。それか

ら子ども達のことを思って、家を住み替えたりしている人達がたくさんいらっしゃいます。例えば、私が聞いたところによると、有磯小学校の4歳児2人が有磯小学校に入学しないのではないかと危惧されている方がいるということです。噂をとり合う必要はないのかもしれませんが、私達が考えているよりも流動的になったときの対処を考える必要があるかもしれません。大変かもしれませんが、方向性を決め、先生の配置や重点的なことを事細かにやっていかないと、従前のものでは、もしかしたら対処できないかなと思います。例えば、新しい中学校ができて、そこに生徒が集中するのではないかという懸念があり、そのためにまちが壊れる可能性もあります。ですので、どのようにするのかをシミュレーションしておかなければならないと思います。子ども達を中心に、人が動く可能性があると思うので、よろしくお願いします。

◎**不嶋七尾市長** ある学校に縛っておくこともできなくなるかもしれないですし、教育委員会の知恵も出していただきたいですが、学校選択の自由を弾力的にするという部分も、考えなければならない時期がくるのではないかと考えています。集まりすぎたら、もしかしたら抽選しなければならないかもしれません。

◎**大森委員** やはりセーフティネットみたいなもので、例えばサッカーをしたいときは11人が必要ですが、地域クラブのようなものとの連携等について、考えなければならないと思います。これは人権なので、どこに行っても機会均等になるようにしなければならないと思います。

◎**不嶋七尾市長** では、次に入ります。③の「いじめ対策」についてであります。教育委員会事務局から説明を願います。

◎**藤澤学校教育課長** (【資料2】の6頁により説明)

(補足：国と学校については、「いじめ防止基本方針」の策定義務があります。地方公共団体については、努力義務になっています。石川県は既に策定しています、七尾市は、ほぼ作成が終わっていますので、今後は皆さまに吟味していただいて、策定に向けて動いていきたいと思っています。)

◎**不嶋七尾市長** このことについて、質疑や意見があれば、発言を願います。

質疑等なし

◎**不嶋七尾市長** 質疑等がないようですので、次に入ります。④の「その他」についてですが、教育委員会から何かあれば、説明を願います。

◎**藤澤学校教育課長** (【資料2】の7頁から9頁により説明)

(補足：資料以外についてですが、これまで学校では色々な行事を行っています。それはほぼ時間割を変更して行事を充てていました。その行事を土曜日に移すことによって時間割がしっかりと運営でき、それによって学力向上を図ることができます。また、行事等を土曜日に移すことによって、地域の人材を活かしたり、保護者に参観等と呼びかけて学校に来ていただくことによって、開かれた学校づくりに繋がるということもねらいとしてあります。)

◎**不嶋七尾市長** 教科書が厚くなったので、このようになったのでしょうか。

◎**近江教育長** 学習内容が多くなってきたのは確かです。しかし、自分達のことを知らないで世界を知ることができません。やはり、ふるさとの素晴らしさを知っていただくためには、伝統芸能を含め、地域をしっかり知っていただくということで、地域の方々に入っていただく機会が多くなってきています。学習内容が増えている中で、これまでは月曜日から金曜日の中で、時間を割いてやっていました。それを土曜日にスライドさせて、月曜日から金曜日は主の方の学習に打ち込む体制づくりをしています。これまでは、先生は授業片手間にふるさと教育等の準備をしなければならなかったですし、地域の方も仕事を休む必要がありました。しかし、土曜日であれば、保護者も休める方が多くなるので、子ども達の様子もそこで見えていただいて、子ども達の理解を深めていただきたいと思います。それが良さではないかと思っていますが、こちらの思い込みにならないよう、1年ごとに検証しながら見直しをかけていきたいと思っています。

◎**不嶋七尾市長** それでは、次に入ります。(3)の「今後のスケジュール」についてであります。教育委員会事務局から何かあれば、説明を願います。

◎**石川教育総務課長** 教育大綱の策定並びにいじめの対応基本方針ですが、途中で秋には示させていただきたいと話をさせていただきました。これ以降の策定のスケジュールですが、夏あたりに一度示させていただき、最終的には秋に策定するというので、お願いしたいと考えています。

◎**不嶋七尾市長** 以上で本日の日程は終了しました。この際、委員の皆さまから、何かあれば発言をいただいて、閉めたいと思います。

◎**山下教育委員長** 大森委員、大学の土曜日はどうなっていますか。

◎**大森委員** 授業があります。祝祭日も授業をするときがあります。

◎**山下教育委員長** 教員の多忙化と言われていますが、土曜日にも授業があったときの方が、ゆとりがあったような気がします。私は、検証が必要ということはありませんが、スピード感のない取組みはよくないと思うので、効果があると分かったら、月2回とか、大学のように毎週行うようにすれば、もっとゆとりが出てくると思います。さらに狙いとしているようなものも、どんどん出てくると思います。問題は、教職員の勤務体制だと思います。

(以降、教職員の多忙化について、しばらく議論)

◎**不嶋七尾市長** ありがとうございます。それでは事務局で少し整理をして、夏に1度大綱の案をつくって、秋には策定するという段取りで進めたいと思います。よろしく願います。

◎**福島企画財政課長** 皆さま本日はありがとうございました。次回開催については、夏を目途に、事務局から案内をさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。